



私の3冊

根本明宜

後輩に薦める 2 冊

James R. Gage, Michael H. Schwartz, Steven E. Koop, Tom F. Novacheck (編)

The Identification and Treatment of Gait Problems in Cerebral Palsy, 2nd Edition

Mac Keith Press, 2009 年発行

Dr. Gage は欧米では臨床に普及している動作解析システムを開発し、動作解析の結果を新たな整形外科手術に結びつけた開祖です。本書は長年の臨床経験から脳性麻痺の病理、診断、治療を網羅した教科書です。本文とリンクした症例、診断手技、手術動画が見られる DVD と、正常歩行や動作解析を解説する DVD の 2 枚が付いており、動作解析や正常歩行を理解したうえで脳性麻痺を学べる仕組みです。少し高いですが DVD だけでもお得です。

A. I. Kapandji (著), 塩田 悦仁 (翻訳)

カラー版カバンジー機能解剖学 全3巻 原著第6版 I 上肢 II 下肢 III 脊椎・体幹・頭部

医歯薬出版, 2010 年発行

原著はフランス語で私も見たことはありません。カラーになった第6版の日本語版です。旧版も分かりやすく未だに用いていますが、カラーでさらに理解しやすくなったと思います。リハビリテーション医として、運動学を理解することは必須だと思います。概念を抽象的にまとめた著者独特の分かりやすいイラストで関節、筋骨格の動きを理解させてくれる教科書です。旧版は恩師の安藤徳彦先生が運動学の説明によく用いられた本でもあり、個人的にも思い入れのある本です。

自分の 1 冊

宇沢弘文, 鴨下重彦 (編)

社会的共通資本としての医療 東京大学出版会, 2010 年発行

高齢化、医療の高度化などで医療費高騰が避けられないなかで、無策な政権が続き、社会格差が拡大し、健康にも格差が顕在化し、先が見えないままわれわれは医療を提供しています。宇沢氏は自動車によって世の中は便利になった反面、公害や交通事故など新たな問題を生じていることなどに社会的共通資本 (social common capital) という概念を提唱された日本を代表する経済学者です。本書は宇沢氏による、崩壊が危惧される医療制度への提言です。リハビリテーション医学と医療情報の二足の草鞋の状況の私が、困った時に手に取っている本です。

■ねもと・あきのぶ 医師 27 年目 横浜市立大学附属病院医療情報部

神奈川リハビリテーション病院で動作解析や障害者スポーツにかかわり、大学病院で急性期のリハビリテーション、特別支援校や地域療育センターのお手伝いで小児リハビリテーションにかかわってきました。動作解析でコンピュータを扱っていたこともあり、医療情報部に転じ電子カルテの管理などが現在の本務です。本は一期一会と思うとつい買ってしまう、部長室は本だらけで地震で揺れるとかなり危ないです。